

概要版【社会科】

社会科において、思考を働かせながら学びをつなぎ、
 自分の考えを表現できる生徒の育成
 ー振り返りをつなげるシート(MTFシート)や考えの根拠を明確にする
 クラウド型ソフトウェア内のフォルダ(KK資料館)の活用ー

研究のねらい

令和3年度 前橋特別研修研究員
 前橋市立第七中学校 岡田 好美

思考を働かせながら学びをつなぎ、自分の考えを表現できる生徒を育成するために、毎時間の振り返りをつなげるMTFシートの活用と、「追究する」過程において必要な情報を取捨選択し考えを構築するために活用したKK資料館の有効性について実践を通して明らかにする。

【生徒の実態】

- 学習問題を意識しながら、単元全体の振り返りを行うことが難しい。
- 根拠を明確にししながら自分の考えを表現することが苦手である。

【指導上の課題】

- 生徒の振り返りを授業の中で活用できていない。
- 資料から根拠を見出し、考えを表現できるようにする指導が十分でない。

実践内容

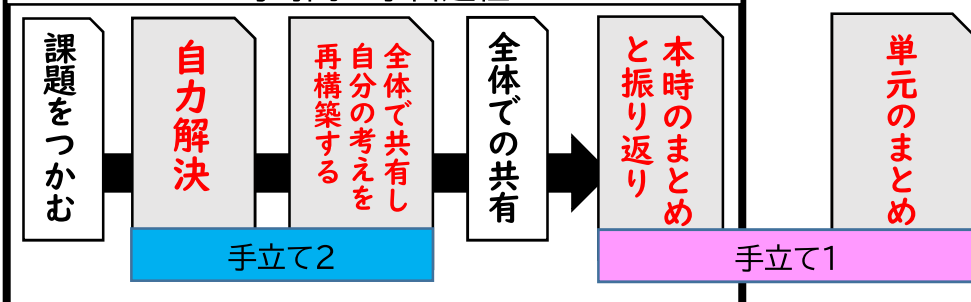
社会科 第3学年 公民分野 「現代の民主政治」
 選挙の課題と私たちの政治参加

生徒
 目指す
 像

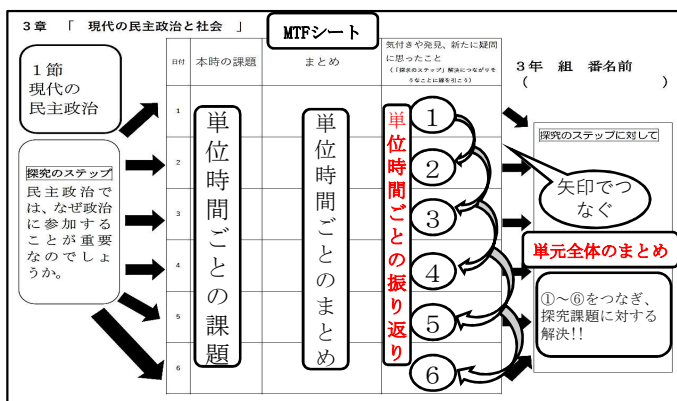
毎時間の学び

単元末の学び

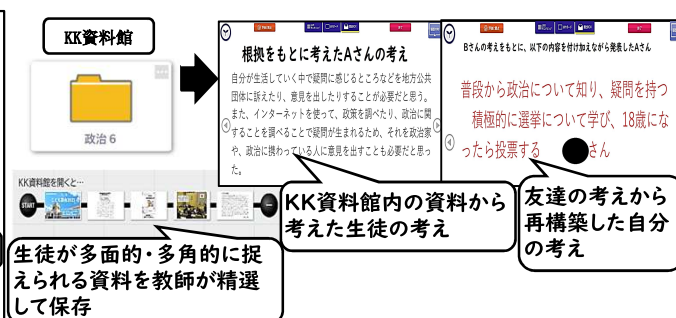
毎時間の学習過程



【手立て1】振り返りをつなげるMTFシートの活用



【手立て2】KK資料館の作成と活用



KK資料館を活用し、思考を働かせながら自分の考えを表現することで、本時のまとめにつながる!!

- MTFシートは、学習問題を解決するために「単位時間ごとの振り返り」(上図①～⑥)「単元全体のまとめ」の2つの場面を支援するシートである。
- ①～⑥の矢印は、学習問題の解決につながる前時の振り返りを、本時の振り返りに生かすときに引く。また、①～⑥の振り返りを生かし、単元全体のまとめを書く。

- 教師は、本時の課題解決に迫る追究場面で必要な資料やキーワードを保存しておくKK資料館を作成する。
- 生徒は、KK資料館を活用し、思考を働かせながら自分の考えを表現する。さらに、友達のことを読む際に、教師が視点を明確に示すことで、自分の考えを再構築することができる。

【手立て1】振り返りをつなげるMTFシートの活用

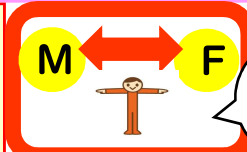
毎時間学習問題を意識し、学んだ知識をつなげながら学習問題を解決できるように、「単位時間ごとの振り返り」と「単元全体のまとめ」といった場面で生徒の思考を促す支援をした。

(1) 「単位時間ごとの振り返り」での活用

5時間目で学習した内容を生かして、6時間目では選挙の投票率に着目して政治参加について振り返ることができた。

(2) 「単元全体のまとめ」での活用

5、6時間目の学びを生かして、単元のまとめでは、民主主義において、選挙などを通して政治に参加することの必要性についてまとめることができた。



MTFシートは、まとめ(M)と振り返り(F)をつなぐシート

選挙は一人の政治参加に重要な役割を果たす。国民主権の原則を反映するため、自分と同じ考えの政党に投票する事が大切。

(省略)

マスメディアを通じ、政府や政党の活動内容を、自分自身の意見を持ち、政治に関心をもち、国民一人一人の意見が反映された政治になるので民主政治で政治に参加することが重要だと感じた。

マスメディアには世論（人の意見）を伝える役割がある。マスメディアを通じて政府や政党の活動やそれに反対する意見を知ることができ、それに基づいて投票先を決めることができる。しかし、全ての情報を信じて、投票先を決めるのは危険だと感じた。若者の投票率が低下しているのは、政治に関心を持っていないからだと感じた。後援が高い候補者の意見が優先される場合もある。若年層の少ない自治体は、二票の格差が生じることもある。こうした問題を解決するためには、一人一人が政治に関心をもち、自分の投票や政治に参加することが重要だと感じた。

単位時間の振り返り

単元のまとめ

単元のまとめを書く際には、KK資料館を用いて表現した自分の考えをもとに、重要語句(キーワード)に着目して書きましょう!!



【手立て2】自分の考えの根拠を明確にするためのKK資料館の作成と活用

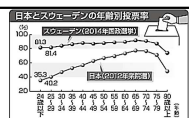
生徒が根拠を明確に自分の考えを表現することを支援するため、オクリンク内に、教師側が意図した資料やキーワードを保存しておくフォルダ（KK資料館）を作成した。KK資料館は「自力解決の場面」「自分の考えを再構築する場面」で活用し、読み取った資料に自分の解釈を加えて、自分の考えを表現できるようにした。

(1) 自力解決の場面での活用

資料から、日本とスウェーデンの選挙に対する考え方には違いがあることを読み取り、自分なりの解釈を加えて、自分の考えを表現することができた。

(2) 自分の考えを再構築する場面での活用

オクリンクで全員が共有することで、自分と違う根拠を用いている友達の表現を参考にして、様々な場面で国民が政治に参加する必要性について、考えを再構築することができた。



スウェーデンの小学校6年生、社会科の教科書を見てみると、投票に行くことや、自分の意見を社会に反映させるために集会やデモを行うことが大切だと書かれています。さらに、学校内では投票が行われることがたくさんあります。例えば、学校で新しい図書を買うとき、限られた予算で、どんな遊具にすればいいか、全校児童で投票して決めます。高校生になると、国会に集まることでもあります。大臣と国の課題について議論します。その内容は、議事録にのり、実際の政策に反映されることもあります。スウェーデンの子どもの場合は、自分の意見が学校や地域、そして国の政治にも反映されているという体験をしながら、政治への関心を高めています。(NHK For Schoolより)

20代の投票率が特に低く、年々下がっていることから、私たちは自分の意見が政治に反映されることへの理解を深める必要がある。投票率の高いスウェーデンのように、選挙権を持たないうちから、自分の意見が全体の意見になることがあり、選挙を身近なものにとらえるべきだと思う。

根拠を基に自分の考えを表現する場面

自分の選んだ根拠と違う資料を見てみよう!!

国民の意見を政治に反映させるためにも、積極的な政治参加が必要。若い世代に政治に興味を持ってもらうためにも、さまざまな政治のイベントに参加したり、家族で政治について話し合ってみたりすることが大切。さん

友達が選んだ資料と友達の考えが表示されている。友達の意見や根拠を基にして自分の考えを再構築

友達の意見を見て、自分の考えの足りない部分に付け足した部分(下線部)

ここから言えることは何かな?!



成果

- 振り返りをつなげるMTFシートを毎時間活用したことで、単位時間ごとの学びと、その学びをつなげて単元のまとめを行うことができ、学習問題の解決につながった。
- KK資料館を活用することで、生徒が単位時間ごとの課題解決に向けて根拠を明確にして自分の考えを表現できるようになった。

課題

単位時間ごとの振り返りの内容が、学習問題の解決に対する記述に留まってしまい、自分事として捉える機会が減ってしまった。振り返りを行う際には、学習内容を生かして自身の学びや変容を自覚できるような支援を行いたい。